

平成31年度使用教科用図書（小学校）選定資料

社会科（別冊）

宮城県教育委員会



平成31年度使用教科用図書（小学校）選定資料社会科（別冊）について

1 作成の目的

小学校社会科教科書の採択に向け、採択権者が調査研究するための参考となるよう、従来の「選定資料」に加え、各社教科書の特徴等を一層明確にし、記載内容やその分量を比較検討できる資料を作成する。

2 作成にあたって

- (1) 各社教科書の記載内容を比較検討できるよう調査研究事項を設定する。
- (2) 調査研究事項の設定に当たっては、小学校学習指導要領（H20.3月）社会科の目標等及び第2期宮城県教育振興基本計画（H29.3月）の目標、中学校学習指導要領解説社会編の一部改訂（H26.1月）等を踏まえる。
- (3) 調査研究事項について、各教科書の比較検討ができるよう記載内容やその分量を示す。

3 調査対象教科書（4社）

- ①東京書籍 ②教育出版 ③光村図書 ④日本文教出版

4 小学校学習指導要領社会科の目標・改訂の趣旨

【社会科の目標】

社会生活についての理解を図り、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育て、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

(1) 学年の目標

〔第3学年及び第4学年〕

- ① 地域の産業や消費生活の様子、人々の健康な生活や良好な生活環境及び安全を守るための諸活動について理解できるようにし、地域社会の一員としての自覚をもつようにする。
- ② 地域の地理的環境、人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きについて理解できるようにし、地域社会に対する誇りと愛情を育てるようにする。
- ③ 地域における社会事象を観察、調査するとともに、地図や各種の具体的な資料を効果的に活用し、地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。

〔第5学年〕

- ① 我が国の国土の様子、国土の環境と国民生活との関連について理解できるようにし、環境の保全や自然災害の防止の重要性について関心を深め、国土に対する愛情を育てるようにする。
- ② 我が国の産業の様子、産業と国民生活との関連について理解できるようにし、我が国の産業の発展や社会の情報化の進展に関心をもつようにする。
- ③ 社会的事象を具体的に調査するとともに、地図や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、社会的事象の意味について考える

力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。

〔第6学年〕

- ① 国家・社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産について興味・関心と理解を深めるようにするとともに、我が国の歴史や伝統を大切にし、国を愛する心情を育てるようにする。
- ② 日常生活における政治の働きと我が国の政治の考え方及び我が国と関係の深い国の生活や国際社会における我が国の役割を理解できるようにし、平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きていくことが大切であることを自覚できるようにする。
- ③ 社会的事象を具体的に調査するとともに、地図や地球儀、年表等の各種の基礎的資料を効果的に活用し、社会的事象の意味をより広い視野から考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。

(2) 改定の趣旨

- ① 広い視野から地域社会や我が国の国土に対する理解を一層深め、日本人としての自覚を持って国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けることを重視して改善を図る。
- ② 我が国の歴史や文化を大切にし、日本人としての自覚を持つようにするとともに、持続可能な社会の実現等、よりよい社会の形成に参画する資質や能力の基礎を培うことを重視して改善を図る。

5 第2期宮城県教育振興基本計画の目標

- (1) 自分の命を大切にし、高い志と思いやりの心を持つ、心身ともに健やかな人間を育む。
- (2) 夢や志の実現に向けて自ら学び、自ら考え行動し、社会を生き抜く人間を育む。
- (3) ふるさと宮城に誇りを持ち、東日本大震災からの復興、そして我が国や郷土の発展を支える人間を育む。
- (4) 学校・家庭・地域の教育力の充実と連携・協働の強化を図り、社会全体で子供を守り育てる環境をつくる。
- (5) 生涯にわたり学び、互いに高め合い、充実した人生を送ることができる地域社会をつくる。

6 「中学校学習指導要領解説」の一部改訂

(1) 領土に関する教育の充実について

- 地理的分野において、竹島について、我が国の固有の領土であることや韓国によって不法に占拠されていること、韓国に対して累次にわたり抗議を行っていること等を明記したこと。また、尖閣諸島については、我が国の固有の領土であり、また現に我が国がこれを有効に支配しており、解決すべき領有権の問題は存在していないこと等を理解させることを明記したこと。
- 歴史的分野において、明治期に我が国が国際法上正当な根拠に基づき竹島、尖閣諸島を正式に領土に編入した経緯に触れることを明記したこと。
- 公民的分野において、北方領土や竹島に関し未解決の問題が残されていることや、現状に至る経緯、我が国が正当に主張している立場を踏まえ、我が国が平和的な手段による解決に向けて努力していることを理解させることを明記したこと。また、尖閣諸島については、現状に至る経緯、我が国の正当な立場、解決すべき領有権の問題は存在していないことを理解させることを明記したこと。

(2) 自然災害における関係機関の役割等に関する教育の充実について

- 中学校社会については地理的分野において、高等学校地理歴史については地理A及び地理Bにおいて、我が国は、東日本大震災等の大規模な地震や毎年各地に被害をもたらす台風等、自然災害の発生しやすい地域が多く、災害時においては、消防、警察、海上保安庁、自衛隊等の諸機関や地域の人々、ボランティア等が連携して対応していること等に触れることを明記したこと。

7 教科書の調査研究

(1) 調査研究の総括表

	調査研究事項（調査研究の対象）	対象の根拠（目標等）
a	〔第3, 4学年〕〔第6学年〕 地域や国の発展に尽くした先人	小学校学習指導要領 第3, 4学年・目標（2） 第6学年・目標（1） 第2期宮城県教育振興基本計画 目標2, 3
b	〔第3, 4学年〕〔第6学年〕 伝統や文化などの地域資源の保護・活用, 我が国の代表的な文化遺産	小学校学習指導要領 第3, 4学年・目標（2） 第6学年・目標（1） 第2期宮城県教育振興基本計画 目標3
c	〔第5学年〕〔第6学年〕 我が国の領土をめぐる問題	小学校学習指導要領 第5学年・目標（1） 第6学年・目標（1） 中学校学習指導要領解説社会編の一部改訂
d	〔第6学年〕 自然災害における関係機関の役割等	小学校学習指導要領 第6学年・目標（2） 中学校学習指導要領解説社会編の一部改訂

(2) 調査対象事項を設定した理由

小学校学習指導要領の第3, 4学年においては, 人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きについて理解できるようにし, 地域社会に対する誇りと愛情を育てるようすることをねらいとしている。また, 第6学年においては, 国家・社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産について興味・関心と理解を深めるようにするとともに, 我が国の歴史や伝統を大切にし, 国を愛する心情を育てるようすることをねらいとしている。これらのことから, 地域や国の発展に尽くした人物及び伝統や文化などの地域資源の保護・活用, 我が国の代表的な文化遺産を取り上げ, その記載内容や分量を調査することとした。

我が国の領土をめぐる問題や自然災害における関係機関の役割等については, H26.1.28付け文科省通知において中学校学習指導要領解説の地理・歴史及び公民において一部改訂があり, 領土や自然災害における関係機関の役割等に関する教育の充実が求められていることから, 小学校社会科の教科書における我が国固有の領土である北方領土, 竹島等や自然災害における関係機関（自衛隊）の役割等について調査する。

(3) 調査研究の方法

- a 各学年における地域や国の発展に尽くした先人の人物名を抽出し内容と箇所数を比較する。
- b 各学年における伝統や文化などの地域資源, 我が国の代表的な文化遺産を抽出し内容と箇所数を比較する。
- c 我が国の領土をめぐる問題について, 北方領土, 竹島等に関する記述の概要を比較する。
- d 自然災害における関係機関（自衛隊）の役割等についても同様に行う。

8 調査研究の内容

a 地域・国家社会の発展に尽くした人物 (小学校 社会 第3, 4学年)

地域・国家社会の発展に尽くした人物	
東 書	大童球溪, 北里柴三郎, 中村汀女, 林又七, 布田保之助, 橋本勘五郎, 小泉八雲, 根岸磐井, 江頭杉太郎, 中村重遠
教 出	吉田勘兵衛, 砂村新左衛門, 友野与右衛門, 浅野総一郎, 小笠原東陽, 三觜八郎右衛門, 吉田茂, 水野豊造, 川口広蔵, 菅原道真, 黒田長政
光 村	等々力孫一郎, 中島輪兵衛, 平倉六郎右衛門, 市川量造, 小林有也, 吉田勘兵衛, 阿部平助, 児玉南柯
日 文	浜口梧陵, 小泉八雲, 中井常蔵, 野中兼山, 上杉鷹山, 熊沢蕃山, 南方熊楠, 印南丈作, 矢板武, 伊勢崎淳

b 伝統や文化などの地域資源 (小学校 社会 第3, 4学年)

伝統や文化などの地域資源	
東 書	松山城, 坊ちゃん列車, 道後温泉本館, 伊予万歳, 松山の秋祭り, 通潤橋, 鳥取のらっきょう, 瀬戸大橋, 阿波おどり, 鶴ヶ城, 天橋立, コウノトリ (豊岡市), あわじ花ざしき (淡路島), 丹波立杭焼, 姫路城, 白神山地, 厳島神社, 仙台城 (青葉城) のあと, セタまつり, まがりねぎ (仙台), ささかまぼこ, 今八幡宮, 瑠璃光寺, 塩釜の冷泉 (岡山県), 旭川源流の碑, 北里文庫, 肥後象がん, 通潤橋史料館, 円形分水, 京都市学校歴史博物館, 有明海ののり, いかなご (淡路), たこ (明石), 山田錦, そうめん (たつの市), 異人館
教 出	横浜港, 中華街, 師岡熊野神社のつつがゆ神事, 大石神社の祭り, 長津田ばやし, けんかセタ, 葛西ばやし, 堰神社, 日枝神社, 砺波のチューリップづくり, 荻窪用水, どんこぶねでの川下り, 平尾台, 太宰府天満宮, 小石原焼, 民陶むら祭, 高取焼, 博多織, 博多人形, 津屋崎人形, 八潮の馬, 上野焼, 彦山がらがら, 八女提灯, 久留米餅, 大川家具, 木うそ, 結城紬, 箱根寄木細工, アニメのまち (練馬区), うそかえ, おにすべの祭り, 梅ヶ枝もち, 太宰府政庁跡, 水城跡, 観世音寺の仏像, 曲水の宴, さつき松原, 博多どんたく港祭り
光 村	舞岡ふるさと村, 天王森泉公園, みなとみらい21地区, 東海道, 横浜港, 中華街, 横浜市歴史博物館, 牛込ししまい, 曲題目, 南山田虫送り, 蛇も蚊も, お馬ながし, 舞岡ばやしほぞん会, 舞岡ばやし, 横浜開港祭, 壬生の花田植, 虹の松原, 今治タオル, 高瀬川 (人工川), 拾ヶ堰, 岩槻藩遷喬館, 吉田新田, 広村ていぼう, 松本城, 仙石高原, 芦ノ湖, 大涌谷, 箱根登山鉄道, 箱根旧街道杉並木, 箱根寄木細工, 三浦ダイコン, 鎌倉大仏, 鶴岡八幡宮, 横浜市国際学生会館, 熊野筆, 岩槻人形
日 文	姫路城, 松原八幡神社, 灘のけんか祭り, 円教寺, 修正会 (鬼追い), 栃木市のまちなみ, とちぎ秋まつり, 栃木市きょう土さんこう館, 百八灯流し, ひまわり (佐用町), ひまわり祭り, とちぎ山車会館, 木の八幡宮の祭り, 稲むらの火の館, 手結の盆おどり, 感恩碑, 耐久舎, 稲むらの火祭り, 南方熊楠記念館, 那須疎水, カプトガニ (笠岡市), カプトガニ博物館, 備前焼, 備前焼まつり, 備前焼伝統産業会館, 旧閑谷学校の講堂, 天の川祭り, 鯉が窪湿原, 備中神楽, 倉敷市の美観地区, うらじゃおどり, 信楽焼

a 地域・国家社会の発展に尽くした人物 (小学校 社会 第6学年)

	古代		中世		近世		近代		現代				
東書	卑弥呼 ワカタケル大王 ヤマトタケル	聖徳太子 小野妹子 中大兄皇子 (天智天皇) 中臣鎌足 (藤原鎌足) 蘇我入鹿 聖武天皇 行基 鑑真 菅原道真 藤原道長 紫式部 清少納言	紀實之	源義家 平清盛 源頼朝 源義経 北条政子 北条時宗 竹崎季長 平国盛 足利義政 足利義満 雷舟 観阿弥	世阿弥 後白河天皇 大内政弘	織田信長 豊臣秀吉 徳川家康 明智光秀 フランシスコ・ザビエル お江 加藤清正	徳川秀忠 徳川家光 天草四郎 (益田時貞) シャクシャイン 杉田玄白 本居宣長 葛飾北斎 近松門左衛門 歌川広重 前野良沢 伊能忠敬 大塩平八郎	福沢諭吉 岡倉天心 大久保利通 西郷隆盛 木戸孝允 ペリー 徳川慶喜 明治天皇 坂本竜馬 新島八重 津田梅子 板垣退助	伊藤博文 大隈重信 榎田嘉十郎 陸奥宗光 東郷平八郎 与謝野晶子 小村寿太郎 北里柴三郎 志賀潔 野口英世 夏目漱石 樋口一葉	新渡戸稲造 田中正造 平塚らいてう 市川房枝 中山平次郎 山田少年 (山田孝野次郎)	西岡常一		
教出	卑弥呼 ワカタケル	平群広成 菅原道真 聖徳太子 小野妹子 中大兄皇子 中臣鎌足 ヤマトタケル 聖武天皇 行基 鑑真 藤原道長 紫式部	清少納言 阿倍仲麻呂	平清盛 源頼朝 源義経 源義仲 北条政子 北条時宗 竹崎季長 足利義満 足利義政 雷舟 観阿弥 世阿弥	織田信長 徳川家康 武田勝頼 豊臣秀吉 今川義元 ザビエル 明智光秀 徳川秀忠	徳川家光 天草四郎 シャクシャイン 近松門左衛門 歌川広重 葛飾北斎 東洲斎写楽 松尾芭蕉 杉田玄白 前野良沢 本居宣長 伊能忠敬	緒方洪庵 吉田松陰 シーボルト 広瀬淡窓 ペリー 大塩平八郎 坂本龍馬 徳川慶喜 勝海舟	西郷隆盛 大久保利通 木戸孝允 岩倉具視 伊藤博文 山口尚芳 津田梅子 渋沢栄一 モース コンドル ブリュナ 福沢諭吉 ペリー 西郷隆盛 大久保利通 木戸孝允 徳川慶喜 高杉晋作 吉田松陰 坂本龍馬 勝海舟 津田梅子 山口尚芳 岩倉具視	板垣退助 楠瀬喜多 大隈重信 明治天皇 石川倉次 フェノロサ 岡倉天心 陸奥宗光 東郷平八郎 与謝野晶子 小村寿太郎 田中正造	北里柴三郎 志賀潔 野口英世 新渡戸稲造 平塚らいてう 山田孝野次郎 後藤新平	昭和天皇 山中伸弥		
光村	卑弥呼 ヤマトタケルノミコト ワカタケル大王 (雄略天皇)	聖徳太子 推古天皇 蘇我馬子 小野妹子 中大兄皇子 (天智天皇) 中臣鎌足 (藤原鎌足) 聖武天皇 行基 鑑真 桓武天皇 藤原道長 紫式部	清少納言	平清盛 源頼朝 後白河天皇 高倉天皇 安德天皇 源義経 源 (木曾) 義仲 北条政子 北条時宗 竹崎季長 那須与一 足利義満	足利義政 雷舟 観阿弥 世阿弥	織田信長 豊臣秀吉 徳川家康 武田勝頼 今川義元 フランシスコ・ザビエル 明智光秀	徳川家光 益田時貞 (天草四郎) シャクシャイン 近松門左衛門 歌川広重 前野良沢 杉田玄白 伊能忠敬 本居宣長 菅江真澄	徳川家光 大久保利通 木戸孝允 徳川慶喜 高杉晋作 吉田松陰 坂本龍馬 勝海舟 津田梅子 山口尚芳 岩倉具視	伊藤博文 福沢諭吉 板垣退助 大隈重信 陸奥宗光 小村寿太郎 東郷平八郎 与謝野晶子 北里柴三郎 志賀潔 野口英世 樋口一葉	夏目漱石 田中正造 山田孝野次郎 平塚らいてう 山本作兵衛 杉原千畝	湯川秀樹 浜井信三 河田恵昭		
日文	卑弥呼 ヤマトタケルノミコト	聖徳太子 小野妹子 中大兄皇子 中臣鎌足 聖武天皇 行基 鑑真 藤原道長 菅原道真 紫式部 清少納言		平清盛 源頼朝 源義朝 源義経 北条政子 北条時宗 竹崎季長 足利義満 足利義政 雷舟 大内弘世	大内義隆	織田信長 豊臣秀吉 徳川家康 今川義元 フランシスコ・ザビエル 明智光秀	徳川家光 益田時貞 (天草四郎) シャクシャイン 雨森芳州 近松門左衛門 歌川 (安藤) 広重 本居宣長 杉田玄白 前野良沢 ペリー 大塩平八郎 伊能忠敬	大久保利通 木戸孝允 徳川慶喜 勝海舟 坂本龍馬 西郷隆盛	榎田嘉十郎 清辺文四郎 明治天皇 岩倉具視 山口尚芳 伊藤博文 福沢諭吉 板垣退助 大隈重信 黒田清隆 陸奥宗光 小村寿太郎	東郷平八郎 与謝野晶子 柳宗悦 田中正造 野口英世 北里柴三郎 津田梅子 平塚らいてう 山田孝野次郎 渋沢栄一 尾高惇忠 ポール=ブリュナ	横田 (和田) 英 斎藤隆夫	野村万作 マッカーサー 湯川秀樹 朝永振一郎 江崎玲於奈 小林誠 益川敏英 福井謙一 白川英樹 野依良治 西岡常一	下村脩 鈴木章 根岸英一 利根川進 山中伸弥 川端康成 大江健三郎 佐藤栄作 南部陽一郎 明石康 田中耕一

b 我が国の代表的な文化遺産 (小学校 社会 第6学年)

	古代	中世	近世	近代	現代					
東 書	三内丸山遺跡 大森貝塚 蛸塚貝塚 板付遺跡 吉野ヶ里遺跡 大仙(仁徳陵)古墳 森將軍塚古墳 江田船山古墳 稻荷山古墳 古事記 日本書紀 出雲国風土記 甲山古墳 岩屋古墳 森將軍塚古墳 金印 岩宿遺跡	飛鳥寺 法隆寺 飛鳥大仏 飛鳥板蓋宮跡 陸奥国分寺 平城宮跡 東大寺大仏 親世音寺 正倉院 校倉造 唐招提寺 大宰府政庁跡 水城跡 鴻臚館跡 寝殿造 和歌 蹴鞠 大和絵 源氏物語絵巻	東帯 十二単 琴 琵琶 碁 囲碁 双六 乗馬 かな文字 源氏物語 枕草子 小倉百人一首 寸松庵色紙 土佐日記 平等院鳳凰堂 白水阿弥陀堂 中尊寺金色堂 毛越寺の庭園 年中行事絵巻	人日の節句 上巳の節句 白馬節会 花宴 曲水の宴 端午の節句 賀茂祭 競馬 夏越祓 七夏の節句 重陽の節句 相撲節会 月見の宴 虫狩 紅葉狩 紅葉舞 五節舞 追儺	叡島神社 朝比奈の切通し 元寇防塁跡 鷹島神崎遺跡 かずら橋 鎌倉街道 義経堂 多々良浜古戦場の碑 金閣 銀閣 書院造 竜安寺の石庭 すみね(天橋立園) 常栄寺の雷舟庭 能 狂言 茶の湯 生け花 足利学校	御伽草子 祇園祭礼図屏風 長刀鉾 四季花鳥図 宝福寺 櫛田神社	大阪城 石見銀山 石州銀 熊本城 長篠合戦図屏風 關ヶ原合戦図屏風 加賀藩の参勤交代図	江戸城 日光東照宮陽明門 首里城 福岡城跡 福代勝寛 歌舞伎 古事記伝 浮世絵 人形浄瑠璃 東海道五十三次 解体新書 蘭学事始 日新館 什の掟	高麗家住宅 旧開智学校 学問のすゝめ 官営富岡製糸場 官営八幡製鉄所 足尾銅山 東京停車場の図 小樽運河 原爆ドーム 平和の礎 平和記念像 小桜の塔 大仙公園平和塔 原爆の子の像	シャクシャインの像
	大森貝塚 大塚遺跡 野毛大塚古墳 三内丸山遺跡 唐子・鍵遺跡 登呂遺跡 板付遺跡 吉野ヶ里遺跡 纏向遺跡 大仙古墳 江田船山古墳 稻荷山古墳	法隆寺 東大寺の大仏 唐招提寺 正倉院 王塚古墳 鞠智城跡 漢字 万葉集 古事記 日本書紀	寝殿造 囲碁 けまり 和歌 古今和歌集 七草がゆ 源氏物語絵巻 百人一首 大和絵 源氏物語 枕草子 ひらがな かたかな 平治物語絵巻 叡島神社 鎌倉街道 蒙古襲来絵詞 博多湾の防塁 中尊寺金色堂 慈照寺東求堂 書院造 金閣	銀閣 水墨画「天橋立園」 茶の湯 生け花 龍安寺の石庭 月次風俗図屏風 壬生の花田植 祇園祭 洛中洛外図屏風 田楽 猿楽 能 狂言 枯山水 螺鈿細工	長篠合戦図屏風 本能寺 大阪城 有田焼 江戸城	日光東照宮 長崎の出島 歌舞伎 浮世絵 日本橋 東海道 中山道 甲州街道 日光街道 奥州街道 人形浄瑠璃 東海道五十三次 津軽塗 秋田杉 南部塗 最上紅花 会津塗 越後ちぢみ 足利絹 富嶽三十六景 俳句 伊勢参り 結城つむぎ	上田つむぎ 輪島塗 九谷焼 木曾ひのき 美濃和紙 瀬戸焼 清水焼 吉野杉 河内木綿 西陣織 阿波藍 土佐和紙 備前焼 砥部焼 萩焼 久留米がすり 博多織 唐津焼 有田焼 薩摩焼 薩摩上布 解体新書 古事記伝	明徳館 作人館 興譲館 日新館 弘道館(水戸) 明倫堂(加賀) 明倫堂(名古屋) 明倫館 修猷館 教授館 時習館 弘道館(佐賀) 造士館 適塾 洗心洞 咸宜園 鳴滝塾 松下村塾 相撲 花火 朝顔市 品川台場	琵琶湖疎水 旧済生館本館 富岡製糸場 日本式点字 訓盲啞院 風刺画 トルコ軍艦遭難慰霊碑 八幡製鉄所 足尾銅山 隅田公園 東京駅	原爆の子の像 平和記念資料館 平和記念公園 原爆ドーム 東京タワー
教 出										

b 我が国の代表的な文化遺産 (小学校 社会 第6学年)

	古代	中世	近世	近代	現代					
光 村	加曾利貝塚 三内丸山遺跡 葉畑遺跡 吉野ヶ里遺跡 森將軍塚古墳 稻荷山古墳 藤ノ木古墳 高松塚古墳 大山古墳 百舌鳥古墳群 古市古墳群 黒塚古墳 古事記 日本書紀	東大寺大仏殿 平等院鳳凰堂 法隆寺 平城京あと 東大寺の大仏 万葉集 正倉院 唐招提寺 葵祭 寝殿造 平仮名 片仮名 大和絵 源氏物語	叡島神社 名越の切通し 化粧坂の切通し 大仏坂の切通し 極楽寺坂の切通し 鶴岡八幡宮 若宮大路 石るい(福岡県) 平家物語 平曲 琵琶法師 金閣 銀閣 石庭(龍安寺)	大阪城 有田焼(佐賀県) 江戸城	日光東照宮陽明門 紅花(山形県) 出島 唐子踊(牛窓町) 中山道 中山道浦和宿 中山道妻籠宿 東海道 甲州街道 日光街道 奥州街道 歌舞伎 人形浄瑠璃 浮世絵	東海道五十三次「日本橋」 解体新書 蘭学事始 伊能忠敬が作った日本地図 弘道館 日新館 明倫館 男鹿の五風 金魚(大和郡山市)	松下村塾 開智学校 富岡製糸場 学問のすゝめ 太陽暦 たけくらべ にこりえ 坊っちゃん 吾輩は猫である 足尾銅山 八幡製鉄所 山手山開山(新井白石) 原爆ドーム	シャクシャインの像 ひらしほクラフワーフェスティバル 長沼田んぼ(さいたま市) あたらしい憲法のはなし 平和の礎 平和記念公園 原爆の子の像 長崎平和祈念式典 アイヌ民族 中華街 おりづるの旅 サダコの祈り マンガ 書道	剣道 姫路城 屋久島 白神山地 古都京都の文化財 石見銀山 平泉-建築・庭園等- 小笠原諸島 琉球王國のグスク(城) 紀伊山地の霊場と参詣道 知床 富士山 白川郷・五箇山の合掌造り集落	
	三内丸山遺跡 加曾利貝塚 登呂遺跡 吉野ヶ里遺跡 大仙(仁徳陵)古墳 高松塚古墳 藤ノ木古墳 古事記 日本書紀	法隆寺 東大寺 東大寺の大仏 周防国分寺 平城宮跡 寝殿造 大極殿 長登銅山跡 正倉院 薬師寺 唐招提寺 下賀茂神社 かな文字	かさがけ(上賀茂神社) 叡島神社 博多湾沿岸の石るい 祇園祭 金閣 東求堂 龍安寺の石庭 雲谷庵 ザビエル記念聖堂 常栄寺 瑠璃光寺五重塔 田楽	石山本願寺 本能寺 名越の切通 洛中洛外図屏風 書院造 能 狂言 水墨画(天橋立) 大内塗り 生け花 茶の湯 おとぎ話の絵本	大阪城 長篠合戦図屏風 伊万里焼 有田焼	日光東照宮 姫路城 首里城跡 唐子踊 疫神社 弘道館 清学院 阿波人形浄瑠璃 阿波十郎兵衛屋敷 三重県水産図解 東海道五十三次 浮世絵 古事記伝	解体新書 蘭学事始 五街道 甲州街道 東海道 中山道 奥州街道 日光街道 出島 相摸 花火 落語 農村舞台	木偶人形 襖からくり 二条城 文楽 五日市薬法草薬の記念碑	富岡製糸場 八幡製鉄所 足尾銅山 南禅寺 水路閣 鹿鳴館 ひめゆりの塔 原爆ドーム 長崎浦上天主堂 琵琶湖疏水 学問のすゝめ 太陽暦	雨情の里港まつり 六角堂 網文杉 シャクシャイン像 法起寺 清水寺 白川郷 熊野参詣道 石見銀山遺跡 中尊寺 富士山 月見祭

【調査研究事項(a, b)において取り上げた数の一覧】

研究事項	a 地域や国の発展に尽くした先人		b 伝統や文化などの地域資源、我が国の文化遺産	
	第3・4学年	第6学年	第3・4学年	第6学年
東京書籍	10	81	36	133
教育出版	11	90	39	151
光村図書	8	82	36	124
日本文教出版	10	99	32	122
平均値	9.8	88.0	35.8	132.5

c 我が国の領土をめぐる問題に関する内容「北方領土」 (小学校 社会 第5学年)

発行者	扱い方(本文・コラム・写真等)	取り上げている項目	記述の抜粋
東京書籍	上巻P8,9 コラム 写真 地図 ふきだし 上巻P9 写真 注釈	領土をめぐる問題 択捉島(北海道)	・北海道の北東に続く歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島は、日本固有の領土です。ところが、70年ほど前におきた太平洋戦争が終わったあとソビエト連邦が占領し、その後もソビエト連邦をひきついだロシア連邦が不法に占領しています。日本政府は、これらの島を返すように求めて、交しようを続けています。北方領土が1日も早く日本にもどることが、わたしたち日本人の願いです。 ・国土には、本州、北海道、四国、九州の四つの大きな島と沖縄島や択捉島をはじめとするたくさんの島々があり南北に連なっています。 ・北緯45度33分 東経148度45分 日本固有の領土ですが、現在はロシア連邦に占領されています。美しい自然が残されています。
教育出版	上巻P10,11 写真地図 上巻P11 写真 上巻P12 本文 地図 注釈 上巻P43 コラム 上巻P82 本文 写真 地図 上巻P82 コラム	日本の北のはし(択捉島) 日本の領土と周りの国々 北方領土、竹島、尖閣諸島の位置 となり合うロシア連邦 世界の中の日本の漁業 漁師の中陳さんの話	・北海道の北東に連なる歯舞群島・色丹島・国後島・択捉島の島々は、北方領土とよばれる日本の領土です。しかし、1945(昭和20)年、太平洋戦争が終わったあとソビエト連邦(今のロシア連邦)が不法に占領し、そこに住んでいた日本人は強制的に退去させられ、今にいたっています。日本は、北方領土の一日も早い返還をロシア連邦に求め続けています。 ・わが国が海底にある資源の開発や漁業を安全に行うためにも、これらの島々をめぐる問題の平和的な解決が必要です。 ・ロシアとの間には、北方領土の問題がまだ解決されずに残っています。北海道の人々は、となり合うロシアの人々とよい関係を築いていきたいと願っています。 ・根室半島のすぐ近くには、ロシアが不法に占拠している、北方領土の島々も見えます。北方領土の周りでいう漁業について、漁師の人たちはどのように考えているのでしょうか。 ・北方領土の周りの海は、たら、さけ、ますなどの水産物が豊かですが、自由に漁をすることはできません。ロシアと話し合い、定められた期間に協力金をはらって漁をしていますが、とることのできる量は制限され、年によっても大きくちがいます。わたしの祖先は、歯舞群島の水晶島でこんぶ漁をしていました。祖先の土地を早く返してもらい、海や資源も元通りにしたいと願っています。
光村図書	P16,17 コラム 写真 地図	領土をめぐる問題 北方領土、竹島、尖閣諸島	・北海道の北東にある歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の北方領土は、元から日本の領土ですが、第二次世界大戦の後、ソビエト連邦(今のロシア連邦)が占領し、今も不法に支配しています。これらの島々が1日も早く日本にもどるよう、日本政府は返還を求める交しようを続けています。
日本文教	上巻P8 地図 上巻P8,9 コラム 地図、写真 上巻P44 地図	日本の国土のはんい 領土をめぐる課題 日本の国土のはんいと排他的経済水域	・日本の北のはし択捉島 ・70年ほど前、第二次世界大戦ののち、ソビエト連邦は、択捉島や、その近くにある国後島、色丹島、歯舞群島を占領しました。これらの島々は、北方領土とよばれ、現在、ソビエト連邦を引きついだロシア連邦が不法に占拠しています。日本政府は、北方領土は日本固有の領土であるため、これらの島々を返すようにロシア連邦にはたらきかけ、話し合いを続けています。日本の人々は、これらの島々が一日も早く帰ってくることを願っています。

c 我が国の領土をめぐる問題に関する内容「北方領土」 (小学校 社会 第6学年)

発行者	扱い方(本文・コラム・写真等)	取り上げている項目	記述の抜粋
東京書籍	上巻P151 コラム 地図	まわりの国と日本	・ロシア連邦とは、1956年に国交を回復(当時はソビエト連邦)しました。しかし、北方領土の返還問題が残されています。
教育出版	上巻P143 コラム 地図	未解決の北方領土	・戦後、ソビエト連邦(ソ連)との国交は回復しましたが、北方領土の問題は解決されませんでした。日本固有の領土である歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島は、ソ連の時代から占領されたままです。1991年にソ連が解体してからは、ロシア連邦との間で返還を求める交渉を続けています。最近では、この地域においても、両国の人々の間で交流が深められています。
光村図書	P139 本文 P143 コラム 地図	日本の独立 日本とロシア	・ソ連とは、1956年に、国交が回復しました。しかし、ソ連は日本の領土の歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島を返還しませんでした。 ・日本の領土である歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の島々はいまだに返還されず、ロシアに不法に支配されています。日本はロシアに対して、北方領土の返還を求める交渉を続けています。
日本文教	上巻P163 コラム 地図 下巻P69 コラム	日本の領土や国境をめぐる課題 ゆうきさんのノート	・北海道の根室沖にある歯舞群島・色丹島・国後島・択捉島は、歴史的にも日本の領土で、北方領土と呼びます。第二次世界大戦後、ソ連はこれらの島々を占領し、現在もソ連を引きついだロシア連邦による不法占拠が続いています。日本政府は北方領土を返すよう、ロシアに求め続けています。 ・北方領土や竹島の問題のように、日本が外国とのあいだで問題をかかえている場合も、国連憲章の目的を忘れないようにして、考えていかなければならないのではないだろうか。

○ 我が国の領土をめぐる問題に関する内容「竹島」 (小学校 社会 第5学年)

発行者	扱い方 (本文・コラム・写真等)	取り上げている項目	記述の抜粋
東京書籍	上巻P8, 9 コラム 写真 地図	領土をめぐる問題	・日本海上にある竹島は、日本固有の領土ですが、韓国が不法に占領しています。
教育出版	上巻P10, 11 写真地図 上巻P12, 13 コラム 地図, 写真	日本固有の領土、竹島と尖閣諸島	・島根県の竹島は、日本の領土でありながら、1954(昭和29)年から韓国が不法な占拠を続けています。日本はこれに抗議するとともに、国際的な場で話し合いによって平和的に解決しようと、韓国に対するはたらきかけを重ねてきています。
光村図書	P16, 17 地図, コラム, 写真	領土をめぐる問題 北方領土、竹島、尖閣諸島	・日本海に位置する竹島(島根県)は、日本固有の領土です。しかし、韓国が不法に占拠しており、日本政府は強く抗議しています。
日本文教	上巻P8, 9 コラム 地図, 写真 上巻P44 地図	領土をめぐる課題 日本の国土のはんい と排他的経済水域	・日本海にある竹島は、日本固有の領土ですが、現在、韓国が不法に占拠しています。

○ 我が国の領土をめぐる問題に関する内容「竹島」 (小学校 社会 第6学年)

発行者	扱い方 (本文・コラム・写真等)	取り上げている項目	記述の抜粋
東京書籍	上巻P151 コラム	まわりの国と日本	・日本固有の領土である竹島を、韓国は1954年から不法に占領しており、日本は抗議を続けています。
教育出版	下巻P42, 43 コラム 地図	領土をめぐる課題	・島根県の竹島は、日本の領土でありながら、1954(昭和29)年から韓国が不法な占拠を続けています。日本はこれに抗議するとともに、国際的な場で話し合いによって平和的に解決しようと、韓国に対するはたらきかけを重ねてきています。
光村図書	P143 コラム	日本と朝鮮半島の国々	・日本の領土である竹島を韓国が不法に占拠していることに、日本は強く抗議しています。
日本文教	上巻P163 コラム 写真	日本の領土や国境をめぐる課題	・島根県沖にある竹島は、1905年(明治38年)に島根県に編入された日本の領土です。しかし、韓国もその領有を主張しており、現在、韓国は、不法に占拠しています。日本政府は、韓国に抗議をし続けています。

c 我が国の領土をめぐる問題に関する内容「尖閣諸島」 (小学校 社会 第5学年)

発行者	扱い方(本文・コラム・写真等)	取り上げている項目	記述の抜粋
東京書籍	上巻P8,9 コラム 写真 地図	領土をめぐる問題	・東シナ海にある尖閣諸島は、日本固有の領土ですが、中国がその領有を主張しています。
教育出版	上巻P10,11 写真地図 上巻P12,13 コラム 地図, 写真 上巻P24 地図	日本の固有の領土, 竹島と尖閣諸島 沖縄の島々	・沖縄県の尖閣諸島も日本の領土でありながら、中国が自国の領土であると主張しています。その周りの日本の海では、中国の船が侵入し、日本の同意を得ることなく海洋調査を行ったり、違法に漁業を行ったりするなどの行為をくり返しています。日本は、海上保安庁などによる警戒や取りしまりを強め、そうした行為をしないよう中国に求めています。
光村図書	P16,17 地図,コラム	領土をめぐる問題 北方領土, 竹島, 尖閣諸島	・沖縄本島の西にある尖閣諸島(沖縄県)は日本の領土ですが、中国がその領有を主張しています。
日本文教	上巻P8,9 コラム 地図, 写真 上巻P44 地図	領土をめぐる課題 日本の国土のはんいと排他的経済水域	・東シナ海にある尖閣諸島は、日本固有の領土ですが、中国も自国の領土であると主張しています。

c 我が国の領土をめぐる問題に関する内容「尖閣諸島」 (小学校 社会 第6学年)

発行者	扱い方(本文・コラム・写真等)	取り上げている項目	記述の抜粋
東京書籍	上巻P151 コラム	まわりの国と日本	・中国は日本固有の領土である尖閣諸島の領有を主張するようになりました。
教育出版	下巻P52 コラム	尖閣諸島をめぐる課題	・沖縄県の尖閣諸島は、日本の領土でありながら、中国が自国の領土であると主張しています。その周りの日本の海では、中国の船が侵入し、日本の同意を得ることなく海洋調査を行ったり、違法に漁業を行ったりするなどの行為をくり返しています。日本は、警戒や取りしまりを強め、そうした行為をしないよう中国に求めています。
光村図書	P143 コラム	日本と中国	・日本の領土である尖閣諸島に対して、中国が領有を主張しています。
日本文教	上巻P163 コラム 地図	日本の領土や国境をめぐる課題	・沖縄県の西方にある尖閣諸島は、1895年(明治28年)に沖縄県に編入された日本の領土です。第二次世界大戦後、アメリカの統治下におかれたましたが、沖縄県が日本に返還されるとともに、日本の領土にもどりました。しかし、中国もその領有を主張しています。

d 自然災害における関係機関（自衛隊）の役割に関する内容（小学校 社会 第6学年）

発行者	扱い方（本文・コラム・写真等）	取り上げている項目	記述の抜粋
東京書籍	下巻P20, 21 本文 下巻P21 写真, 注釈 下巻P23 写真 下巻P28 新聞	東日本大震災への緊急対応 自衛隊による救命・救出活動 気仙沼市のがれきを撤去する様子 大震災と緊急対応	<ul style="list-style-type: none"> ・宮城県でも、被害状況をつかむための情報収集を行うとともに、災害救助法を適用して自衛隊に災害時の派遣要請を行いました。 ・自衛隊の災害派遣は、何度かに分けて増員され、3月18日に過去最大の10万人規模となりました。 ・東日本大震災では、自衛隊による救命・救出などの活動が、いち早く行われ、被害者の大きな支えになりました。 ・被災地では、いち早くかけつけた自衛隊や消防庁による活動が、とても頼りになり、心の支えにもなったそうです。自衛隊の派遣は、十万規模にもなり、まさに国を挙げての緊急対応でした。
教育出版	下巻P19 写真 下巻P21 本文 下巻P21 写真, 注釈	避難する人々を救助する自衛隊員 緊急の支援 支援物資を運ぶ自衛隊員	<ul style="list-style-type: none"> ・全国から派遣された警察や消防、岩手県からの要請を受けて出動した自衛隊など、大勢の人々が、被災した人々の捜索や救護にあたりました。 ・東日本大震災では、最も多いときで1日に10万人をこえる自衛隊員が被災地で活動しました。
光村図書	P176 写真, 注釈	ハイチで災害の復旧活動をする自衛隊2010（平成22）年	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法は戦力をもたないことを定めていますが、国を防衛するために、日本は自衛隊をもっています。自衛隊については、憲法の平和主義と照らし合わせて、さまざまな意見がかわされています。写真は、外国で平和活動をしている自衛隊の様子です。
日本文教	下巻P35 本文 写真	災害発生時の政治のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> ・茨城県は、救助活動や行方不明者のそうさくをすばやくおこなうために、自衛隊に派遣要請をおこないました。これを受けて、国は、自衛隊に対し、被災地への派遣命令を出しました。



